

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 8 年度 相武台地区まちづくり会議 第 1 回全体会		
事務局 (担当課)		相武台まちづくりセンター 電話 0 4 6 - 2 5 4 - 3 7 5 5		
開催日時		令和 8 年 6 月 2 日 (火) 午後 6 時 00 分から午後 7 時 05 分まで		
開催場所		相武台まちづくりセンター 1 階 まちづくり会議室		
出席者	委員	1 9 人 (別紙のとおり)		
	その他	3 人 (アセットマネジメント推進課)、2 人 (図書館)		
	事務局	2 人 (相武台まちづくりセンター)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 会議の傍聴 3 会長あいさつ 南区長あいさつ 4 議題 (1) 昨年度及び今年度の活動について (2) 2 月 6 日付要望書の現在の状況について (3) 旧もえぎ台小学校跡地の活用について (4) まちづくりを考える懇談会のテーマについて (5) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項 5 その他		

議 事 の 要 旨

主な内容は次のとおり。

1 開会

2 会議の傍聴

傍聴希望者はなし。

3 会長あいさつ

南区長あいさつ

4 議題

(1) 昨年度及び今年度の活動について

会長より資料1・2に沿って説明。

特に意見等はなく、資料2の案について承認された。

(2) 2月6日付要望書の現在の状況について

図書館長より以下のとおり説明。これに対する意見等はなかった。

(館長) 令和5年度から7年度にかけて、相武台地域にとって望ましい図書機能についてご検討いただき、感謝申し上げます。本年2月には、役員の皆様から教育長へ、図書館相武台分館の在り方についての要望書を提出いただき、地区内の図書機能の維持方法のひとつとして、短期的には現施設を可能な限り活用し、中長期的には旧もえぎ台小学校跡地において、その機能を確保する旨の話をいただいた。

この要望を踏まえた検討状況については、当該跡地が、土地区画整理事業の計画区域内に含まれていることから、現在市長部局との連携を図りながら、検討を進めているところである。今後についても、土地区画整理事業の進捗を見据えつつ、引き続き市長部局とともに、地域の皆様と対話を継続していきたいと考えている。

本市の行財政構造改革プランの最終年度が、令和9年度となっているが、地区における図書機能については、切れ目なく継続していくことが必要であることから、検討に時間を要する場合には、現在の分館施設を利用できるようにしたいと考えている。

(3) 旧もえぎ台小学校跡地の活用について

アセットマネジメント推進課長より以下のとおり説明。これに対する意見等はなかった。

(課長) 昨年度いただいた要望書の内容を、区画整理組合へより具体的に伝えていくために、更に内容を深掘りするようなワークショップの提案を検討している。

前回、東京都立大学助教授にも参加いただいたが、今年度は当大学院生の参加も予定している。昨年度に引き続き、楽しみながら議論を展開したいと思う。

既に説明のとおりであるが、区画整理事業の区域内であるため、10年先を見据えたワークショップとなる。そのため、皆様に長期間議論をさせるような負担をかけるつもりはないため、今年度ワークショップを行い、来年度その内容をまとめて、一区切りとする予定である。その後は、区画整理事業の進捗に沿って、皆様とご相談させていただきたいと思っている。

(4) まちづくりを考える懇談会のテーマについて

会長より資料3-1～3-5に沿って説明。

特に意見等はなく、資料3-2の案について承認された。

⇒ まちづくりを考える懇談会に向けた準備を担当する委員について、参加の意向を確認したところ、迫委員の立候補があり、これに対して異議なし。

(会長) こちらに参加いただくと、懇談会の資料をまとめる作業やシナリオを検討するために打ち合わせいただくこととなり、本全体会とは別で時間をいただくこととなるため、出席調整がとりやすい方や積極的な意見をいただける方に参加いただけると嬉しい。迫委員以外に私も参加予定であるが、本日欠席の委員含め、他委員への参加打診については私会長一任とさせていただいてよろしいか。

(一同) 異議なし。

(会長) では、事務局と調整を進めながら、参加いただきたい委員への打診をさせていただくので、ご留意願いたい。

(5) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項

【消防団】

明日に警報級の大雨予報となっている台風6号が接近しているため、土砂災害等注意願いたい。それに伴い、警報レベル3高齢者等避難が発令されている。また、17時より順次避難所が開設されており、本地区は相武台公民館(風水害避難場所)が開設されている。消防団でも巡回周知しているが、近くに避難に時間を要するものがあれば、避難の声掛けを願いたい。また、令和8年5月29日より気象庁が発表する災害気象情報の名称が変更となっている。それに伴い大雨警報は「レベル3大雨警報」との名称に変更となり、レベル数値とともに情報が伝えられる。レベル

3～4が発令された際は、付近の河川水位情報を確認し、早めの避難を心がけていただきたい。

【スポーツ推進委員連絡協議会】

6月7日（日）9：30～14：00頃で、相武台市民健康まつりを開催予定。公民館内や磯野台体育施設を利用し、実施させていただく。皆様の健康増進を目的として、多様な企画を展開するので、ぜひ参加いただきたい。

【青少年指導委員連絡協議会】

小学校3～6年にかけて、通年の授業としてふれあい体験クラブというもの、地区内2校の小学校で実施している。現在は参加への募集を行っているところであり、6月16日（火）までを期限としている。現時点で15人程の応募に留まっており、あと15人程参加いただきたいと考えている。ぜひ、地域の方々に参加へのお声をいただきたい。

5 その他

(1) 次回まちづくり会議の予定

令和8年9月29日（火）午後6時から（場所 相武台公民館大会議室）

以 上

相武台地区まちづくり会議 委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	浅田 聡	相武台地区自治会連合会	会長	出席
2	高橋 孝雄	相武台地区社会福祉協議会	副会長	出席
3	砂村 久三子	相武台地区民生委員児童委員協議会	副会長	出席
4	宮本 憲雄	相武台公民館	副会長	出席
5	鳴島 昇	相武台地区自治会連合会	理事	出席
6	奥野 智	相武台地区自治会連合会	理事	出席
7	宇田 敏秋	相武台地区自治会連合会	理事	欠席
8	桑原 勝利	南区安全・安心まちづくり推進協議会 相武台支部		出席
9	荻原 正人	相武台地区青少年育成協議会		欠席
10	永井 保子	相武台公民館運営協議会		出席
11	迫 良寛	相模原市青少年指導委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
12	織田 和彦	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会 相武台地区協議会		出席
13	魚里 めぐみ	相武台小学校PTA		欠席
14	龍口 千鶴	緑台小学校PTA		出席
15	魚津 桃	相武台中学校PTA		出席
16	山本 雅敏	相武台こどもセンター		出席
17	堀田 典子	相模原市立相武台第3児童館		出席
18	番匠 勉	相武台地区老人クラブ連合会		出席
19	川崎 知恵子	相武台地域包括支援センター		欠席
20	溝口 興二	相武台団地商店街		出席
21	遠藤 誠	相模原看護専門学校		出席
22	浅利 達也	相模原市消防団南方面隊第2分団		出席
23	根本 健一郎	公募委員		欠席
24	笹原 砂知子	公募委員		欠席
25	小池 清史	公募委員		出席

令和8年度 相武台地区まちづくり会議(第1回全体会)

次 第

令和8年6月2日(火)

午後6時から

公民館 大会議室

1 開会

2 会議の傍聴

傍聴希望者数 名

3 あいさつ

(1) 浅田 会長あいさつ

(2) 有本 南区長あいさつ

4 議題 ※ 1人1分程度の自己紹介を議題(1)の前に行います。

(1) 昨年度及び今年度の活動について …資料 1、2

(2) 2月6日付要望書の現在の状況について(図書館)

(3) 旧もえぎ台小学校跡地の活用について(アセットマネジメント推進課)

(4) まちづくりを考える懇談会のテーマについて …資料 3-1~3-5

(5) 各団体等からの依頼事項、お知らせ事項

5 その他

(1) 今後のまちづくり会議の開催予定 ※ 第4回以降は今後設定

第2回全体会 9月29日(火)午後6時から 大会議室

第3回全体会 12月1日(火)午後6時から 大会議室

出席者	<input type="checkbox"/> 浅田 <input type="checkbox"/> 高橋 <input type="checkbox"/> 砂村 <input type="checkbox"/> 宮本 <input type="checkbox"/> 鳴島 <input type="checkbox"/> 奥野 <input type="checkbox"/> 宇田
	<input type="checkbox"/> 桑原 <input type="checkbox"/> 荻原 <input type="checkbox"/> 永井 <input type="checkbox"/> 迫 <input type="checkbox"/> 織田 <input type="checkbox"/> 魚里 <input type="checkbox"/> 龍口 <input type="checkbox"/> 魚津
	<input type="checkbox"/> 山本 <input type="checkbox"/> 堀田 <input type="checkbox"/> 番匠 <input type="checkbox"/> 川崎 <input type="checkbox"/> 溝口 <input type="checkbox"/> 遠藤 <input type="checkbox"/> 浅利
	<input type="checkbox"/> 根本 <input type="checkbox"/> 笹原 <input type="checkbox"/> 小池

令和7年度 相武台地区まちづくり会議 活動報告書

1 地域課題の解決について

まちづくり会議は、まちづくりの課題を自主的に話し合い、課題解決に向けた活動に構成団体などが協働して取り組むための会議で、自治会や地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、公民館など、各地区で活動している団体等の皆さんを中心に構成されています。

令和7年度は役員会と全体会をそれぞれ4回開催し、全体会議では次のとおり市から説明を受け、議題についての検討を行いました。

回次	月日	議 題	出席 委員	傍聴
1	6月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の活動報告について ・令和7年度の活動計画案について ・まちづくりを考える懇談会のテーマ募集について ・もえぎ台小学校跡施設の活用に向けた今後のスケジュールについて(アセットマネジメント推進課) 	22人	3人
2	8月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館相武台分館のあり方検討会からの報告 ・もえぎ台小学校跡地“地域活用エリア”の活用について ・まちづくりを考える懇談会のテーマ意見書について 	18人	4人
3	10月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の廃棄物行政の現状と課題について(廃棄物政策課) ・活動計画等の改正について ・地域に向けたアンケートの実施結果について ・もえぎ台小学校跡地の活用に向けた市民ワークショップについて(アセットマネジメント推進課) 	21人	4人
4	1月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けた委員改選 ・令和8年度 活動計画書素案 ・もえぎ台小学校跡地の活用に向けた市民ワークショップワークショップの実施結果と市へ提出する要望書案 ・図書館相武台分館のあり方検討会からの報告 教育委員会へ提出する要望書案 	19人	1人

2 相武台地区まちづくりを考える懇談会の開催

地区まちづくりを考える懇談会は、まちづくり会議の構成員と市が意見交換や情報共有をしながら、地区のまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進するために

開催するものです。

令和7年度は、「もえぎ台小学校跡地の活用に向けた市民ワークショップ」の実施に伴い、開催を中止しました。

3 『もえぎ台小学校跡地（C棟および周辺敷地）の土地利用に関する要望書』の提出

もえぎ台小学校跡地のうちC棟（おもいで館）及びその周辺敷地で実現したい対応策を、相武台地域に広く伺うため、公民館、図書館相武台分館及びもえぎ台小学校にパネルを設置し、アンケートを実施しました（9月）。その結果を踏まえたうえで、11月に2回の市民ワークショップを実施し、要望書としてとりまとめ、市へ提出しました。

4 地域活性化事業交付金申請に係る事業

幅広い層の市民の参加と協働による地域の活性化を目指し、各地区において市民が自主的に課題解決に取り組む事業に交付する当該交付金は、申請があったすべての案件について、まちづくり会議の意見を踏まえ、市が交付を決定又は不決定する制度となります。

令和7年度は、対象事業がありませんでした。

5 専門部会の設置による協議

大きな課題や検討に時間を要する課題等については、当会議の下部組織として専門部会を設けることができ、令和7年度は2つの専門部会で協議を行いました（1つは休止中）。

[相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会]

平成30年8月に設置し、令和6年3月に「学校再編に係る指定変更許可区域の検討結果報告書」を教育委員会に提出しました。

令和7年度は中学校学区の再編について、該当する小・中学校のPTAで意見交換が実施されました。

目的	相武台周辺地域小・中学校の児童・生徒にとって望ましい学習環境の実現に向けた検討、協議を行っていくもの
構成員	・地区自治会連合会（会長・副会長） ・地区社会福祉協議会（会長） ・地区民生委員児童委員協議会（会長） ・公民館（館長） ・小学校及び中学校PTA（代表） ・青少年育成協議会（会長）

[相武台地区防災マップ検討会]

令和5年5月に設置しましたが、令和8年3月に閉校した旧もえぎ台小学校が避難所として指定されており、閉校後の対応を市で調整中であったため、令和7年度は検討を休止していました。

今後、避難所の統合等の状況を踏まえ、検討を再開する予定です。

目的	相武台地区防災マップを策定・改定するもの
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・地区自治会連合会(会長・副会長) ・地区社会福祉協議会(会長) ・地区民生委員児童委員協議会(会長) ・公民館(館長) ・防災専門員(1名) ・各小学校及び中学校避難所運営協議会(会長) ・消防団南方面隊第2分団(代表)

[図書館相武台分館のあり方検討会]

令和5年5月に設置し、今年度は6回の検討会を開催し、相武台地区にふさわしい図書機能・サービスを検討し、要望書をとりまとめ教育長へ提出しました。

目的	図書室機能の確保について検討するもの
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・地区自治会連合会(会長・副会長) ・地区社会福祉協議会(会長) ・地区民生委員児童委員協議会(会長) ・公民館(館長) ・小学校及び中学校PTA(代表) ・青少年育成協議会(会長) ・青少年指導委員連絡協議会(地区代表) ・おはなしサークル(2団体)

6 まちづくり会議の活動PR・情報公開

まちづくりを進める上では、地域住民の理解や参加・協力は不可欠なものであり、透明性や公平性を高めるため、次のようなPR活動を実施しています。

また、令和6年度から公募委員が構成員として参加しています。

- ・全体会の公開(傍聴制度の活用)
- ・地域情報紙によるPR
- ・自治連だより「そうぶだい」への投稿
- ・相武台地区自治会連合会ホームページ(BBQ)への掲載

以上

令和8年度 相武台地区まちづくり会議 活動計画書(案)

相武台地区まちづくり会議は、これまでの取組を継承し、地域づくりを着実に推進するため、令和8年度については次の取組を実施していきます。

1 地域課題の解決について

まちづくり会議は、まちづくりの課題を自主的に話し合い、課題解決に向けた活動に構成団体などが協働して取り組むための会議で、自治会や地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会、公民館など、各地区で活動している団体等の皆さんを中心に構成されています。

今年度も引き続き、役員会や全体会を開催し、事業等の進行管理等のほか、各団体間等との情報交換を行い、団体間の連携強化を図ります。

2 まちづくりを考える懇談会の開催

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地区のまちづくりを協働して考える場として、次のとおり実施します。

日時	令和9年2月頃 午後6時から ※今後、調整します。
場所	相武台公民館 2階 大会議室
出席者	まちづくり会議委員、市長・副市長・関係局長等

- ・ 懇談のテーマについては、まちづくり会議の中で決定していきます。
- ・ テーマ内容に基づき、当日の発表者なども調整していきます。

3 地域活性化事業交付金の申請内容の審議

幅広い層の市民の参加と協働による地域の活性化を目指し、各地区において市民が自主的に課題解決に取り組む事業に交付する当該交付金は、市に申請があったすべての案件について、まちづくり会議の意見を踏まえた上で、市が交付又は不交付を決定する制度となります。

当会議は、申請案件の内容について、交付金が公金であることを前提に、次の視点等で審議(書面による審議となる場合もあります。)し、市に意見していきます。

- ・ 地域の活性化に寄与する事業か
- ・ 地域課題の解決に取り組む事業か
- ・ 事業内容が地域の特性を生かした事業か
- ・ 他団体の活動など良い波及効果を与える事業となるか
- ・ 地域に類似する事業を実施していないか
- ・ 事業に協力することができるか など

※ 昨年度の相武台地区の予算額は35万円でした。

4 専門部会の設置による協議

大きな課題や検討に時間を要する課題等について、当会議の下部組織として次の専門部会を設けて、専門部会で検討した解決策の提案等を当会議にフィードバックしていきます。

(1) 相武台周辺地域小・中学校の学習環境のあり方検討協議会（平成30年から継続検討）

市学務課が事務局となり、これまで小学校の再編や学区の検討をしてきましたが、今後は中学校の学区について、相模台地区と一緒に検討を行う予定です。昨年度から開始した関係小中学校の保護者による意見交換会での意見を踏まえ、今年度から本協議会での検討を再開予定です。

目的	相武台周辺地域小・中学校の児童・生徒にとって望ましい学習環境の実現に向けた検討、協議を行っていくもの
構成員	・地区自治会連合会（会長・副会長） ・地区社会福祉協議会（会長） ・地区民生委員児童委員協議会（会長） ・公民館（館長） ・小学校及び中学校PTA（代表） ・青少年育成協議会（会長）

(2) 相武台地区防災マップ検討会議（令和5年に設置し、現在は検討を休止中）

令和8年3月に閉校した、もえぎ台小学校の閉校後の避難所としての状況を踏まえて、検討を再開する予定です。（令和8年度中に、もえぎ台小学校閉校後の避難所の取扱いについて整理予定のため、令和9年度から検討再開見込みです。）

目的	相武台地区防災マップを策定・改定するもの
構成員	・地区自治会連合会（会長・副会長） ・地区社会福祉協議会（会長） ・地区民生委員児童委員協議会（会長） ・公民館（館長） ・防災専門員（2名） ・各小学校及び中学校避難所運営協議会（会長） ・消防団南方面隊第2分団（代表）

(3) 相武台地区防災計画検討会議

相武台地区の防災計画の方向性等について検討し、「相武台地区防災計画」として、まちづくり会議へ提言します。令和8年3月に閉校した、もえぎ台小学校の閉校後の避難所としての状況を踏まえて、検討を再開する予定です。（令和8年度中に、もえぎ台小学校閉校後の避難所の取扱いについて整理予定のため、令和9年度から検討再開見込みです。）

目的	相武台地区防災計画を策定・改定するもの
構成員	・地区自治会連合会（会長・副会長） ・地区社会福祉協議会（会長） ・地区民生委員児童委員協議会（会長） ・公民館（館長） ・防災専門員（2名） ・各小学校及び中学校避難所運営協議会（会長） ・消防団南方面隊第2分団（代表）

5 もえぎ台小学校跡地の活用に向けた市民ワークショップ(令和7年度から継続検討)

(1) 目的

昨年度は、もえぎ台小学校閉校後の跡地の主に“C 棟(おもいで館)とその周辺の敷地”について、地域課題の解決に資する活用に繋げるための、主な土地利用(活用方法)について、提案書を市へ提出しました。今年度は、昨年度提案した、主な土地利用(活用方法)をもとに、より具体的な使い方のイメージを整理していく予定です。

(2) 実施予定時期

令和8年度下半期

以上

まちづくり会議代表(会長) 殿

相模原市長 本村 賢太郎
(公印省略)

令和8年度 地区まちづくりを考える懇談会の実施希望等について (通知)

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から市政につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、お礼申し上げます。

さて、令和8年度地区まちづくりを考える懇談会の実施希望等について「1 実施にあたっての留意点」及び別紙「令和8年度 地区まちづくりを考える懇談会 実施要領(案)」をご確認のうえ、ご検討いただき、各まちづくりセンターを通じてご回答いただきますようお願いいたします。

1 実施にあたっての留意点

(1) 実施期間について

7月から翌年2月の間で調整することとし、別添「まち懇日程調整用カレンダー」のとおり、議会期間及び市長公務により1月は実施不可となります。

また、実施曜日は「火曜日・木曜日」が原則となります。

(2) 懇談会開始時間について

平日は午後6時開始、土日祝日は昼間の時間帯となります。

※市長公務等の都合により、開始時間を別途調整させていただく場合がありますのでご了承ください。

(3) テーマについて

テーマの数につきましては、原則一つですが、時間内での運営となることが見込まれる場合は、二つまで可能とします。

なお、テーマ設定については、次の例を参考にしてくださいようお願いいたします。

【適当な例】地域資源をいかしたテーマになっている。

テーマ：〇〇を活かした地域の魅力発信の方法について

テーマ：〇〇跡地の有効活用による地域の活性化について

【適当でない例】広範なテーマに関連性のない地域課題を複数詰め込んでいる。

(4) 懇談内容について

単なる要望や事業説明は、まちづくり会議の場等へ担当する局部長や所属の出席を求めて行うことが可能であり、より迅速な地域課題の解決につながるため、懇談会での単なる要望や事業説明を求める内容は、適当ではないものと考えております。

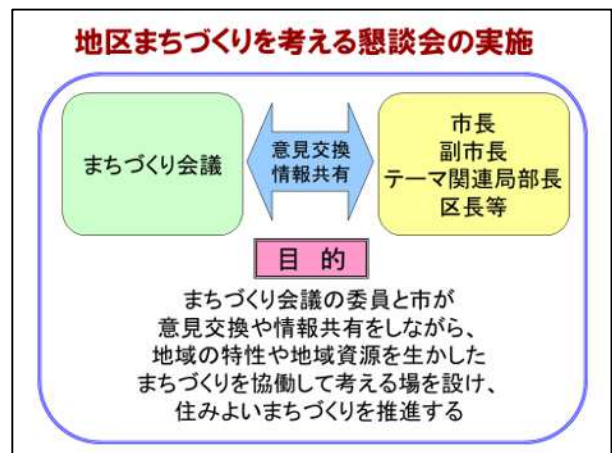
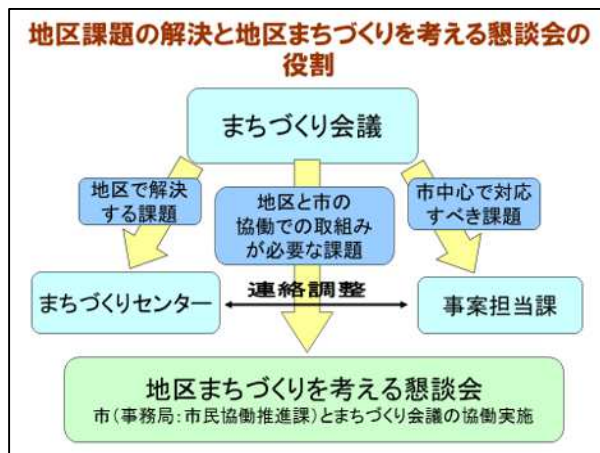
【適当な例】テーマに沿った内容になっている。

〇〇を活かした魅力発信を行う中で、地区と行政の協働で何ができるか

〇〇跡地の有効活用により、地域が目指す未来像について 等

【適当でない例】単なる要望や説明を求める内容になっている。

(参考) 地区まちづくりを考える懇談会の役割等



以上

市民局 市民協働推進課 市民・地域活動支援班

担当：田頭・玉木

電話 042-769-8226 (直通)

(案)

令和8年度 地区まちづくりを考える懇談会 実施要領

1 目的

まちづくり会議の委員と市が意見交換や情報共有をしながら、地域の特性や地域資源を生かしたまちづくりを協働して考える場を設け、住みよいまちづくりを推進する。

2 本年度の開催方針等

各地区まちづくり会議が市長と地区のまちづくりについて考える「対話」の場を希望した場合に実施する。

また、名称を『地区まちづくりを考える懇談会「地域の未来を語ろう with 市長」』として実施する。

3 実施単位

実施希望地区のみ年1回1会場までとする。

4 実施方法

各地区まちづくり会議と市の協働により実施する。

5 開催日等

実施日及び会場は、まちづくり会議と市との調整により決定する。

開始時間は、平日は午後6時からとし、まちづくり会議側からの希望がある場合は、休日の昼間の実施も可能とする。

6 進行等

懇談会の進行等はまちづくり会議の代表者等が行い、実施時間は概ね1時間30分とする。

7 出席者

(1) 地区の出席者は、まちづくり会議の委員とする。なお、まちづくり会議が特に必要とする場合には、委員以外の出席を認めることができるものとする。

(2) 市側の出席者は、市長、テーマ担当副市長、区長、テーマに関連する局長(市長公室長含む。)及び事務局長とする。ただし、区長は副区長が、局長は部長級が代わることができ、部長級が設置されていない局については、局長が指定する所属長が代わることができ、事務局長は次長又は指定する職員が代わることができるものとする。また、まちづくり会議事務局の職員、テーマに関連する部署の課長及び職員も出席できるものとする。

※市長の公務日程等で対応できない場合がある。

8 懇談の内容

地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(二つ以内)。

【テーマの考え方】

ア 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。

イ 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

9 傍聴

当日受付とし、地区以外の住民も傍聴可能とする。ただし、会場の都合により、座席数には限りがあるため、希望者が多い場合には抽選により、傍聴者を決定する場合がある。

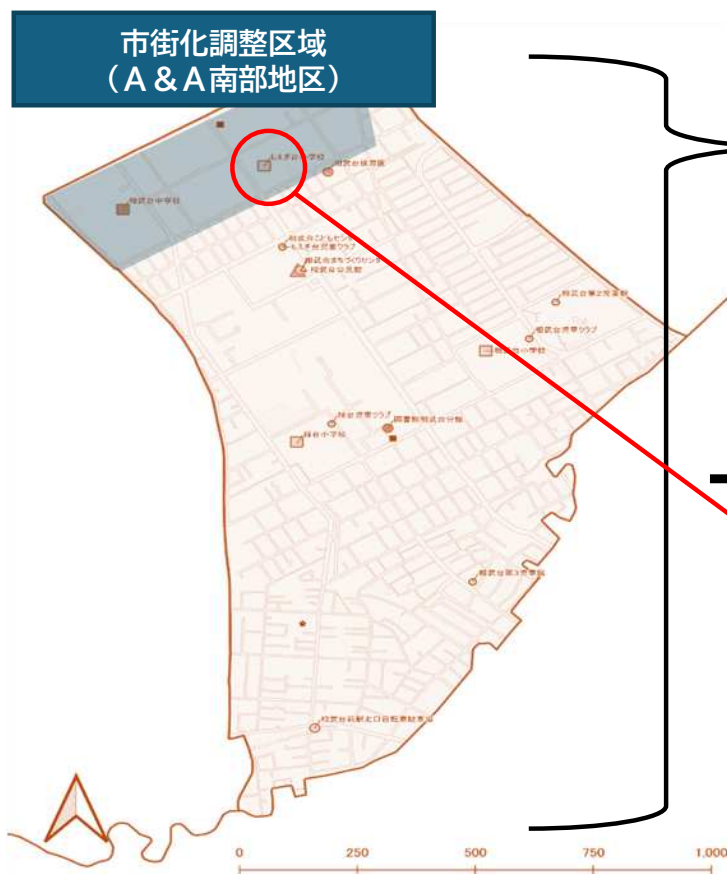
10 周知方法

市ホームページ及び地域情報紙にて周知を行う。

実施の方向性案

現総合計画（R2～）策定の際、「相武台地区まちづくり会議報告書（平成30年9月）を作成しましたが、ここで挙げた地域課題を振り返り、地域全体として現在抱える課題について議論したいと考えています。

（※なお、次期総合計画（R10～）策定に向け、市からの意見聴取を控えています）



●まちづくり懇談会

地区全体

H30に作成した、相武台地区まちづくり会議報告書を振り返り、相武台地域全体が現時点で抱える課題や、これから地域として取り組むべき問題をテーマとして扱う。

▶ 対話先

相模原市

▶ 時間軸

これまでの8年と今現在

●ワークショップ

地区北部（もえぎ台小）

A&A区画整理事業に含まれる、旧もえぎ台小学校跡地の活用について、今後の準備組合との対話のために、“図書機能とその他の機能のつながり”について、より具体的なイメージ化をするために実施。

▶ 対話先

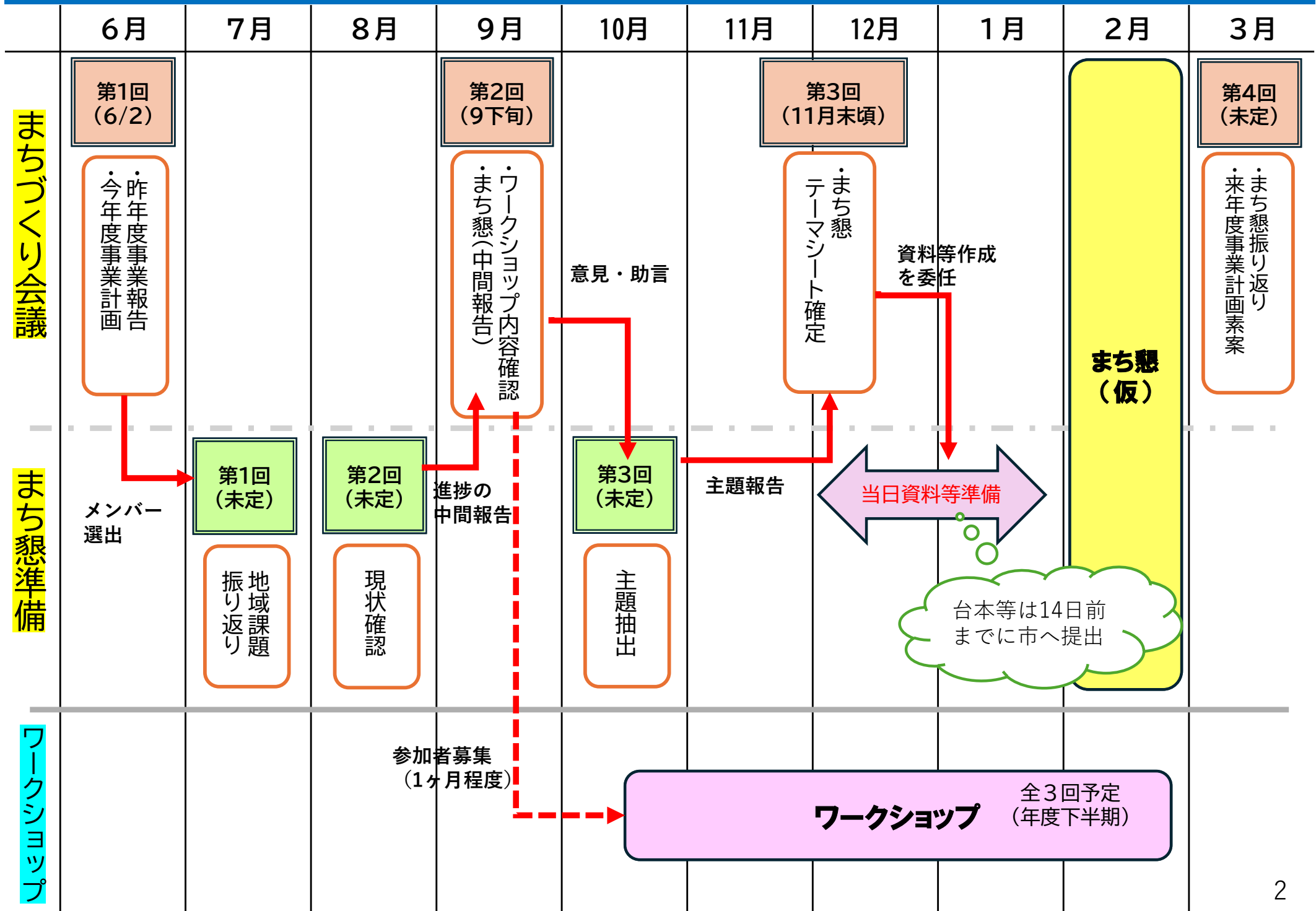
区画整理準備組合
(市を經由)

▶ 時間軸

10年（以上）先の将来

令和8年度 相武台まちづくり会議スケジュール（案）

資料3-2



次期総合計画・都市計画マスタープラン 相武台地区まちづくり会議報告書

平成30年9月

相武台地区まちづくり会議

目 次

(課題と対応方策)

1	都市計画・都市整備	P 1
2	道路・交通	P 2
3	住環境・生活環境	P 3
4	【重点】自然・環境	P 3
5	産業・観光・商店街	P 4
6	安全・安心	P 5
7	健康・医療・福祉	P 6
8	教育・子育て	P 6
9	【重点】地域コミュニティ	P 7
10	基地	P 8
	会議経過	P 9

1 都市計画・都市整備

現状と課題

相武台地区の西側では、新たな拠点の形成を目指し、麻溝台・新磯野地区整備推進事業（約148ha）の予定区域となっており、先行して平成26年度より第一整備地区の土地区画整理事業（約38ha）が行われています。

当該地区周辺道路の整備や産業・生活支援系施設の立地の促進が図られるなど、周辺地区の活性化が期待されている一方で、整備地区周辺道路への工事用大型車の通行や整備後の交通量増加などの対策が課題となっています。

対応方策

- ・周辺道路の一方通行や大型車両の進入禁止などの交通規制を検討する（市民・行政）
- ・麻溝台・新磯野第一整備地区までの移動手段として、コミュニティバスの導入を検討する（市民・行政）

2 道路・交通

現状と課題

相武台地区には、狭い道路が多く、特に市道相武台47号は道幅が狭いことに加え、主要道路からの抜け道として利用され、相当の交通量になっており、安全に歩行できるよう幅員の確保や歩道の整備が求められています。

また、相武台地区から女子美術大学や相模原ギオンスタジアム、市役所方面へ直接アクセスできる公共交通手段が少ないことが課題となっています。

対応方策

- ・ キャンプ座間の東側道路（ゴルフ場周辺外周道路）を返還してもらい、交通量の分散を図る（行政）
- ・ 市道相武台47号などの道路拡幅整備を行い、渋滞の緩和を図る（行政）
- ・ 市道相武台47号の周辺道路の一方通行への見直しや大型車両の進入禁止などの交通規制を検討する（市民・行政）
- ・ 多方面への交通手段として、近隣市の事例を参考にコミュニティバスの導入を検討する（市民・行政）



市道相武台 47 号

3 住環境・生活環境

現状と課題

相武台地区では、人口減少などの影響により、団地を含めた空き家（部屋）が増えてきており、管理が不十分であることによる景観や防犯上の問題が生じています。

また、焼却施設からの悪臭が漂うことがあり、対策が求められています。

対応方策

- ・ 空き家（部屋）の家賃の一部補助を行う（行政）
- ・ リフォーム、リノベーションにより魅力を高め、空き家（部屋）の解消を図る（民間）
- ・ 不動産業者や行政と連携し、空き家の対応を検討する（市民・行政・民間）
- ・ 悪臭などの通報を受けた場合に、市が早急に焼却施設の立入検査を実施するなどの監視体制の強化を図る（行政）

4 【重点】自然・環境

現状と課題

相武台地区には、公園が多くありますが、どこも同じような公園で特色がなく、魅力が乏しいため、あまり活用されていないことが課題となっています。

他地区からも様々な世代に集まってもらえるような、特色ある公園づくりが必要となっています。

対応方策

公園のテーマを考えるコンテストの開催など、学生や若年層を含めた幅広い世代の地域住民の意見を聞くための場を設け、提案された内容（遊具や設備など）を参考に特色がある公園の整備を検討する（市民・行政）

公園内にランニングコースや懸垂などができる健康遊器具の設置を検討する（市民・行政）

5 産業・観光・商店街

現状と課題

相武台地区では、身近な商店街で買い物をする人が少なくなっていることに加え、近隣にショッピングモールができたことで、商店街に人が集まらず、地域に活気が無くなってきていることが課題となっています。

対応方策

- ・ 地域の人々が、どのような消費生活や買い物のスタイルを求めているのか需要調査を実施し、商店街の魅力を創出する方策を検討する（市民・民間・行政）
- ・ 商店街に駐車場を整備する（民間）



6 安全・安心

現状と課題

相武台地区では、日頃から防災訓練を実施するなど、地域の防災への意識は高まっていますが、住民の中には、「自分だけは大丈夫」と考えている人がいるなど個人の認識に差があることが課題となっています。

防犯灯がLED化されたことで、道が明るくなる等、防犯対策が図られていますが、高齢者を狙った振り込め詐欺や不審者などに対する更なる防犯対策が必要となっています。

また、県内でも相模原市南区は自転車事故が多く、「自転車交通事故多発地域」に指定されています。スマートフォンの利用やイヤホンで音楽を聴きながら自転車走行するなど、交通マナーの低下が課題となっています。

対応方策

- ・ 防災に関する詳細な地域別の情報を開示して、身近な危険を認識してもらう（行政）
- ・ 散歩などを登下校時間に合わせて行い、子どもの見守りを行う（市民）
- ・ 自転車事故危険箇所をマップ等で周知するとともに、ルールを再認識させる（市民・行政）
- ・ 自転車事故を起こした場合に、多額の損害賠償金を請求される恐れがあることを、子どもも含め住民に周知する（市民・行政）
- ・ 振り込め詐欺の被害にあったことを恥ずかしいと考え、警察に届出をしない人がいるため、まずは正確な実態把握のために届出ができる環境を整える（市民・行政・その他（警察））

7 健康・医療・福祉

現状と課題

相武台地区は、高齢者の割合が高く、2065年には高齢化率が48.6%と地区の約半数が高齢者になることが見込まれています。

高齢者は、複数の医療機関を受診しているケースが多い傾向にあり、必ずしも近くに医療機関があるわけではなく通院することが負担となっているため、今後、地域の身近な場所で、健康面の相談ができる窓口の必要性が高まっています。

また、車を所有していない高齢者などの病院までの移動手段の確保も求められています。

対応方策

- ・相模原看護専門学校に学生が単位を取得できる制度の構築を働きかけ、健康面の簡易相談窓口などを担ってもらう（行政・その他（教育機関））
- ・地域に潜在する医療に携わっていた人を発掘し、住民の健康増進や予防に役立てる（市民・行政）
- ・利用者の病院までの送迎システムの構築について、病院単位で検討する（行政・その他（医療機関））

8 教育・子育て

現状と課題

相武台地区では、子どもたちが安心して成長できる居場所づくりや子どもたちを地域で見守る体制づくりに取り組んでいますが、人材の確保に苦慮しており、継続的な活動に課題があります。

対応方策

- ・無料の学習塾やこども食堂など地域の有志で実施している活動を、地域としてバックアップする体制をつくる（市民）
- ・地域の放送設備を活用し、登下校時に見守りの呼びかけを行うなど、地域が一体となって見守りに取り組む（市民・行政）
- ・日頃の声掛けや挨拶で見守りを充実させ、互いに顔見知りとなる（市民）

9 【重点】地域コミュニティ

現状と課題

相武台地区では、まちづくりセンター・公民館・高齢者支援センター・こどもセンター・相模原看護専門学校などを含めて一体となった地域の拠点「そあら」とし、地域への愛着心を育てているほか、「ふるさとまつり」や地域イベントとして定着しつつある「相武台芸術祭」などの地域活動への参加者が増えており、地域の結束が強くなっています。

一方、近年、近隣との付き合いが希薄になってきており、災害時の安否確認などに課題があります。

また、人が自然と集まる機会の創出や世代間の交流など、更なる地域活動の活性化が必要となっています。

対応方策

世代間の交流を目的に、様々な世代の人が気軽に立ち寄れる場所として、地域の拠点である「そあら」を活用し、イベントなどを開催する（市民・行政）
親が子どもを地域活動に連れて行くなど、小さい頃から地域に関われるような環境づくりを行う（市民）

- ・定期的なラジオ体操など、地域の人が集まる機会（イベント）を創出する（市民）



10 基地

現状と課題

相武台地区には、西側にキャンプ座間が隣接しており、これまでも返還を要望していますが、実現には至っていません。

また、キャンプ座間（在日米陸軍キャンプ座間ゴルフコース）については、広域避難場所に指定されています。災害時に、市からの要請に基づいて災害の状況等を勘案した上で、米軍が受け入れの決定を行うという段取りになっており、実際にキャンプ座間への避難が可能であるか不安があります。

対応方策

- ・相模総合補給廠だけではなく、キャンプ座間の返還についても強く要望する（行政）
- ・近隣の自治会（会長や役員）の要請によって、避難場所として開放してもらえるよう検討する（市民・行政）
- ・キャンプ座間の避難場所について、2段階に避難エリアを設定し、1段階目のエリアについては、災害時は即座に立ち入れるようにする（行政）
- ・災害時に市職員が立ち会えるように、付近に居住している市職員などが対応を図れる体制をつくる（行政）



会議経過

日 程	会 議 内 容	委員出席数
平成30年 5月30日	第1回 ・地域の課題（良くなった・悪くなった点）の抽出	18名
6月26日	第2回 ・課題と対応方策検討	16名
7月31日	第3回 ・課題と対応方策検討	18名
8月28日	第4回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	17名
9月27日	第5回 ・報告書のとりまとめ ・重点項目の検討	17名

相武台地区では、グループの進行役として、南区若者参加プロジェクト実行委員会の委員が参加しました。

南区若者参加プロジェクト実行委員会...若い世代がまちづくりへ参画しやすい方法を、若者自らが企画・実行することを目的にしている団体です。

Aグループ

※相武台地区全体の課題や良い点として挙げた項目です

課題

- ・図書館交流場が少ない、図書館の廃止が危惧されている
- ・カフェがほしい（世代交流できるカフェがない）/お茶する場が少ない
- ・緑があって安全なのにウォーキングやジョギングの場が少ない
- ・神奈中（交通機関）が使えない/バスの本数が少なく、交通弱者が多い/移動手段や細かい所を通るバスが不足
- ・既存コミュニティが閉鎖的/発信力が低い
- ・若い人が喜ぶ場所がない 高齢者の居場所が少ない
- ・互いの声かけが少ない
- ・団地にエレベーターがない/空間が広い団地だが活用しきれていない
- ・高齢化・廃れているエリアがあり
- ・人におすすめできる場所や店が乏しい/映えない施設・環境がある/夜間は暗い
- ・中高年が溜まっている
- ・徒歩圏内の店が少ない/個人商店が少なく、お店が減っている
- ・全地域をまとめた祭りの開催が不足/交通の場、ふるさとまつりなどの活気がない
- ・1人でもスポーツできる場所が少ない
- ・土砂災害リスクが残っている/水害の心配がある
- ・病院が近くに少ない

良いところ

- ・静かな緑があり、人が良い/緑が多い
- ・図書館がある
- ・安全な住環境、静かな住宅街/災害が少ない場所/安全、安心の地域環境と交通の利便性
- ・高齢者が働ける場所もある
- ・自然と集まれる場所がある/地域の人同士の交流もある
- ・地形が平坦な地域
- ・交流の場や祭りも開催されている
- ・第3児童館、子どもや遊び場がある
- ・米軍キャンプもちょうどよい刺激になっている
- ・バスも一定数あり交通の足は確保されている

Bグループ

※相武台地区全体の課題や良い点として挙げた項目です

課題

- ・町づくりに不足がある（計画的な町づくりの遅れや不十分さ）
- ・地区内に小さな公園やプレイロットが多いが、利用・活用がうまくいっていない面がある
- ・観光的なものが少ない
- ・コーヒーショップやファミレス、飲食店が少なく不便/飲食の場や遊びの場が少ない
- ・駅までの交通手段が少ない（駅から遠い）/駐車場が少ない/遠い地域の人にとって駐車場が重要（コインパーキングなど）
- ・子ども遊び場・居場所が不足、室内外とも不足している/若者たちが学習や集う場が少ない
- ・学校から町への通学時間が短い、地域協力的な人が少ない/地域の活気づくりや人間関係の連携不足
- ・高齢者と幼児が混在し、うまく交流できていない
- ・図書館相武台分館があるものの、高齢者が多く集まり、若者や子どもたちの利用が不足しがち
- ・ギャンブル等の場がないことは良くない
- ・周辺にスーパーやコンビニ、ドラッグストア、ゲストハウスが多いが買い物に不自由している人もいる
- ・50年以上の集合住宅があり高齢化が進んでいる
- ・静かに新聞や雑誌が読めるスペースが少ない
- ・図書館利用や周辺施設の利用頻度に課題がある

良いところ

- ・自然が多い、静かな環境でグリーンパークは散歩コースに良い
- ・気軽におしゃべりできるカフェ等がわずかにある
- ・学校が近いので通学時間が短い
- ・地域に協力的な人が多少いる
- ・図書館相武台分館があり、高齢者がたくさん集まるスペースが存在
- ・地区内に小さな公園やプレイロットが多く、子どもや一般人がゆったりと過ごせる場所がある
- ・新しい地域なので活気がある

Cグループ

※相武台地区全体の課題や良い点として挙げた項目です

課題

- ・大きな災害が無い割に防災意識が弱い
- ・夜間は暗い
- ・休憩所・喫茶店が少ない/お店が少なく薬局ばかり/便利なスーパーが少ない/普段使いの店が少なく、コンビニは多いが生活に不十分
- ・駅前からまちセンまでが遠く、高齢者は大変
- ・公民館が遠い・浮いている存在
- ・人柄がおだやかで公園が多い一方、子どもが少ない
- ・20~30代の人をあまり見かけない
- ・信号が少なく危ない
- ・市街地・居住地の分離・孤立感
- ・図書館からの距離がある
- ・駅前エリアに開放的な休憩・交流の場が少ない

良いところ

- ・適度にきれいで人柄穏やか、ほど良い田舎の雰囲気
- ・公園が多く近い
- ・図書館が豊かで利用しやすい
- ・子育てしやすい住環境
- ・スーパーやコンビニが数多く日常生活には便利
- ・児童館や小児科が近く、地域的に静かなところ
- ・学校が近いので教育環境も良い
- ・大規模な施設が広く生活に必要なものは揃う
- ・犬散歩や他人と交流できる場所
- ・駅周辺やまちセン近辺の利便性は高い

3グループ意見のまとめ(1)

※3グループで掲出されたそれぞれの意見を、AI活用して総括した資料になります。

課題

交通利便の不足

駅やバス停までのアクセスが悪かったり、バス本数が少ないため、高齢者や子どもが移動しづらい。コミュニティバスや小回りのきく交通手段の導入が必要。信号が少なく安全性の確保も課題。

高齢化と若年層の流出・交流不足

集合住宅の高齢化が進み、若い世代が少ない、若者が気軽に集まれる場が不足している。世代間交流の場づくりが課題。

居場所・交流の場の不足

子どもから高齢者まで自由に集まり、交流できる多世代対応の施設が少ない。カフェ、休憩所、飲食店、娯楽施設も不足気味で、気軽に立ち寄れる場所が望まれている。

地域イベントやコミュニティ活動の活性化が不足

子どもから高齢者まで自由に集まり、交流できる多世代対応の施設が少ない。カフェ、休憩所、飲食店、娯楽施設も不足気味で、気軽に立ち寄れる場所が望まれている。

文化・レクリエーション施設の充実不足

図書館はあるものの、より楽しく魅力ある施設への期待が高い。公民館や文化施設が遠かったり、単一利用で偏るなどの課題がある。

防災意識と施設の充実不足

大災害が起きていないが、防災意識が弱く、避難施設や支援場としての役割強化が求められる。

3グループ意見のまとめ(2)

※3グループで掲出されたそれぞれの意見を、AI活用して総括した資料になります。

良いところ

自然環境が豊かで静か

緑が多く、散歩や遊びに適した公園や広場が充実している場所が多い。生活環境として安全で住みやすいとの評価が多い。

図書館や児童館、学校などの公共施設は一定の充実度

学校や図書館、児童館など子どもの教育・育成の土台となる施設があり、地域住民の交流の場としても役割を果たしている。

適度に利便性がある施設・店舗

スーパーやコンビニ、薬局など日常生活に必要な品物を購入できる店や医療施設もあり、ある程度生活に困らない基盤がある。

地区まちづくりを考える懇談会 年度別概要

資料3-5

年月日	議 題 (発言者)	出 席	傍 聴
R7	「もえぎ台小学校跡地の活用に向けた市民ワークショップ」開催のため中止	-	-
R6/11/26(火)	地域課題を解決する街の駅化工画 (公募委員 笹原 砂知子)	23	10
R5/11/14(火)	もえぎ台小学校跡地の有効利用による地域活性化について (相武台小学校PTA 役員補佐 宮田 亜美) (相武台団地商店会 代表 溝口 興二)	22	4
R5/1/17(火)	様々な変化を受ける相武台地区のまちづくりについて ・麻溝台・新磯野地区整備推進事業 (相武台公民館 館長 宮本 憲雄) ・次期一般廃棄物最終処分場の候補地 (相模原市青少年指導委員連絡協議会 相武台地区協議会 委員 迫 良寛) ・小学校の再編に伴う児童館の集約及び閉校施設の利用 (相武台団地商店会 会長 溝口 興二)	18	4
R3	コロナのため開催中止 〔【参考】テーマ募集後に中止となったが、次のとおりテーマ案の提出があった。〕 ・通学路の交通安全・防犯について	-	-
R2/11/6(金)	コロナのため開催中止 〔【参考】開催中止となったが、次のとおりテーマ案の提出があった。〕 ・高齢者の安全・安心について ・相武台地区の拠点として誰もが自由に使える「そあら」の活用について ・高齢者の健康維持と認知症予防対策について ・新磯野西公園の利用について ・光齡社会の主体者として、いきいきと	-	-
R1/11/1(金)	活力ある相武台を目指して 1 相模原青陵高校の跡地利用について (相武台中学校PTA会長 笹原 砂知子) 2 相武台前駅周辺の再開発について (相武台地区自治会連合会副会長 松嶋 保和)	19	6